

2021
January

「市民発のネットワーク」走り始めて3か月。 新しい人たちや個人の参加も増えた。交流もはじまります。

9月27日にアースデネットが発足して約3か月。15回に渡って開催してきたアースデフェアの経験と蓄積を活かしたい、「つながり」を大切にしたいと、とにかく走り始めました。

さいわい、多くの方たちに受け入れていただき、新しい団体・個人の参加も増えています。地域メディアである「タウン通信」や「ひばりタイムス」、「ゆめこらぼ」への記事掲載やホームページへの掲載、FM 西東京への出演などでの広報活動もひろがっています。事務局のみなさんや関わってくれた人たちの尽力で、創作紙芝居「つながりのはなし〜みんなちきゅうでいきているなかま」(みつばちと環境のお話)も完成。素敵な作品になりました。アースデネットの目的やテーマソングを動画にしたWEB (Facebook やYouTube など) も配信できるようになりました。

なによりうれしいのは「アースデネット発足の記事を見ました。一緒にできることはありませんか」との連絡をいただき、環境を学ぶ人たちとの交流が始まりそうなことです。

アースデはさまざまな思いをもった方たちが、垣根を越えて心をつなげて一堂に会する貴重な「機会」でした。残念ながら昨年はコロナ感染のために中止になりましたが、その思いをひきつぎ、つなげていきたいと発足したのが「アースデネット」です。

世界的なコロナ感染の中で、人間にとって本当に必要なのは、富の偏在を招く経済成長ではなく、生活する人たちが子どもや孫の世代も「いのち」を大切にできる時間や場所を準備しておくことだと改めて感じています。そのためにアースデや「SDGs」の認知活動を広げながら、さらに「アースデネット」を充実させていきたいと考えています。

2021年はどういう年になるのかまだわかりません。コロナ感染の様子を見定めつつ、オンラインなども活用し、アースデフェアの開催を検討するプロジェクトも早期に開始します。

こうした時こそ「孤立」させない、人と人の「つながり」を大切に、それを「つむいでいく」。2021年をそうした年にしたいと思います。みなさんのご支援はもちろん、ご意見や提案で「市民発のネットワーク」をさらに充実させていきたいと思っています。



代表：川地 素書
(かわじ ちとえ)

アースデネット on Webサイト

★Youtube・アースデネット2020★

☆アースデネットのYouTubeチャンネルです。更新します。皆様、チャンネル登録してください。



★タウン通信・ウェブ版★

☆地域情報紙「タウン通信」のアースデネット紹介記事です。更新して頂きます。《文化の力》でつながる! 西東京市で「アースデネット」発足(2020年11月4日・2020年12月5日)



★ゆめこらぼ・活動団体の機関誌★

☆《西東京市市民協働推進センター・ゆめこらぼ》の「活動団体の機関誌・環境」で紹介されているアースデネットの情報紙等のPDFです。更新していきます。



アースデイネットに登録している団体・個人のみなさん

(2020年12月現在/敬称略)

正会員

※アースデイスポット※ 大気くん

東大農場・演習林の存続を願う会

東大農場・演習林の 動植物観察調査活動継続

会誌「森と農場」「観察会NEWS」発行。25年継続の東大農場・演習林の植物・動物観察記録をハンディ図鑑化。市・東大と協働のみどりのまちづくり推進。演習林と協働の「子ども樹木博士」認定活動。

大気汚染測定西東京市連絡会

大気汚染測定運動で 毎年アースデイに参加

現役時代は工場廃出ガスのNO_x、SO_xなど浄化技術の開発に携わり、2003年から東京都ならびに当市の大気汚染測定運動に参加。アースデイには毎年、大気環境の展示と子供たち向けにNO_x測定の実演を実施。

※アースデイスポット※ エクラアニマル

エクラアニマル

全ての人の幸せの為、 心にしみるものづくりを...

志ある仲間と、自然と融合したあたりまえの幸せを求めて、心が本気で喜ぶアートの共有をしたい。そして、未来の子供たちに笑顔のボタンが渡せるよう子供たちの模範となるような共同体でありたい。

※アースデイスポット※ 西原自然公園

西原自然公園を育成する会

20年に渡って西原自然公園の 雑木林の若返り作業をしています

更新活動によって暗い雑木林が生まれ変わり、「地域文化のフィールドミュージアム」となりました。昔ながらの明るい雑木林が再現し豊かな生態系が復活して、各方面から注目されるようになりました。自然に教えられる自然の生命力を体感する活動です。

※アースデイスポット※ 西東京 菜の花エコプロジェクト

西東京 菜の花エコプロジェクト

畑でつどい学びあう、 環境とコミュニティ

生きることは食べる。基本的な栽培技術をまなび安心が出来る野菜と一緒に収穫し、豊かな交流をつくります。農業の厳しさや楽しさを知ることからみどりあるまちの環境をまもる気持ちを育みます。

※アースデイスポット※ 駄菓子屋かなん

株式会社 TO・BI・RA

“わが街の子はわが街で育てる” というコンセプトの駄菓子屋です。

“わが街の子はわが街で育てる”というコンセプトの駄菓子屋です。多世交流のサードプレイスとしてご利用いただいています。DSW(駄菓子屋ソーシャルワーカー)として、多様な大人のみなさまと一緒に、地域の子ども達を見守っていきたくと考えています。

賛助会員・サポーター会員・アースデイスポット

賛助会員

小関雄嗣/有限会社 小関内装 (natural wall deco)

壁装一級技能士の国家資格を持つ 内装業の2代目

〈オガファーザー〉という、ドイツで100年以上使われている自然素材(木材パルプ)の壁紙を、日本の輸入元メーカーからの紹介も受けて、東京圏で中心に扱っている工務店(内装業)です。高齢者や障害者の住環境を整備する「福祉住環境コーディネーター」の資格も。

※アースデイスポット※ 日産プリンス西東京販売 田無店

日産プリンス西東京販売 田無店

「人と車と自然の共生」を実現するために、 地球環境の保護に取り組んでいます。

日産は、地球環境の保護に積極的に取り組んでおります。100%電気自動車のリーフはCO₂排出量ゼロ、排気ガスゼロなど様々な環境への配慮を行っております。2021年にはアリアも誕生します。

※アースデイスポット※ ベーカリーピヨピヨ

ベーカリーピヨピヨ

「お客様にちょっと幸せな気持ちに なってもらえるパン屋」を目指しています

パン生地には保存料等添加物は使用していません。素材にこだわり、おいしいパンを届けます。食パンは国産小麦粉・もち粉を使い低温長時間発酵させ、もちもち・しっとり仕上げました。子連れママさんがほっと一息入れられる場所にしたいという思いからイートインを作りました。

※アースデイスポット※ 南三又酒店

西部地域協力ネットワーク [にににnet.]

笑うまちには福きたる

赤ちゃんから高齢者までみんなに心地よい居場所があって、安心して楽しい日々を過ごせたら、きっと笑顔あふれるまちになる。住民と団体のそれぞれからの情報発信を共有することで、程よい距離感の顔の見えるご近所ネットワークを築きます。



※アースデイスポット※ ヤギサワベース

ヤギサワベース

西東京市の駄菓子屋併設型 デザイン事務所です

駄菓子・駄玩具など200以上の商品を取り扱っています。ファミコン、将棋・囲碁・トランプ、お絵かきなどが楽しめるコミュニティースペース(フリースペース)もあります。子どもたちはここで、お菓子を食べて、遊んで、コミュニケーションを学びます。



※アースデイスポット※ SHARE WELL Hironta

菊池ゆかり SHARE WELL Hironta

保谷で生まれ育ち働き モットーは笑顔来福。

“有事の対応は普段の楽しいおつきあひから”夫を見送り出戻った実家の周りは知らない人ばかり。自分と母の老後に危機感を覚え、地域再デビューを決意。月1回パンを販売しながら、再生した井戸の水を使ったイベントを企画。



※アースデイスポット※ HALUM

サスティナブルカフェ&サロン HALUM (ハルム)

Harmony・Love & Light・ Mother earth

ひばりヶ丘「北口商店街」一番奥にある1F「オーガニックベジカフェ」、2F「自分・自然と繋がるサロン」の古い小さな軒家のお店です。【みんなの自分らしさが輝く地球、7世代先の子ども達も喜ぶ地球を夢見て...】日々展開しています。



NPO法人 ワークスコープ

地域福祉充実、子育て支援、 障がい者支援、居場所づくりを推進。

地域を豊かにする仕事づくりと活動をするため。20年間、推進してきた「労働者協同組合法」が2020年12月に国会で成立しました。法律を活用し、市民発の仕事づくりを推進します。

ごみ資源化市民会議

ごみ扱いされているものを 資源化してごみを減量する活動

主として「不要食器類を回収して粘土に再生する活動」と「ペットボトルのふたを回収してチャリティする活動」をしています。環境保全のために少しでもごみを減らしたいというボランティア活動ですが、市民も協力的で、10年以上継続してごみの減量につながっています。

西東京 自然を見つめる会

自然に親しみ、学び、愛し、 守ろうと活動しています

みどりが少なくなっている市内でいかに自然に接し、愛し、楽しみ、残していくかを模索している団体です。(自然観察会の実施、「西東京市の木50選」の選定と案内、「緑の散策路コース」の作成協力と案内、「公園の在り方報告書」の作成と啓発、など)

西東京自治研究センター・ 自治労西東京市職員労働組合内

自治研センターでは環境・子どもに ついて調査・研究をしています。

西東京市及び西東京市職労は、災害ボランティアに参加したことを契機に、市民協働の実践と政策提言のできる拠点としての西東京自治研究センターを設立しました。様々な課題を市民、関係機関等とともに学び、活動し、「住んでよかった。」と思える西東京市を市民とともに創っていく拠点としていきます。

都市計画道路3・4・7を考える会

東大農場A地区を 市民広場として残したい

コロナ禍の後、地産地消・公園・空き地など、都市を耕し自給自足を！【緑基金】拡充制度条例化で、東大農場・屋敷林・生産緑地等を買収、借地の資金作りを市民・議員・行政が知恵を絞り贈与、銀行・信金に遺言書をつけて預託するとか、知恵を絞り資金を作る。

納田さおり (西東京稲門会)

市民派無所属の 西東京市議会議員 4期目

既存の政党や政治団体に所属せず、常に市民目線で現実的な問題意識を持って市政に対応している、フリーハンドな政治家。日本初・女性初危機管理士1級。防災士。

その他の登録団体・個人

- ◆市民放射能測定所 あるびれお
- ◆憲法9条を守る西東京連絡会
- ◆環境サポーター はちどりの会
- ◆NPO法人 終活支援センター
- ◆渡部國夫 (西東京木の子会)
- ◆山本善吉

*今回掲載できなかった方々は、次号でご紹介します！

会員登録
受付中!

登録方法や活動内容については、メールでお問い合わせください。

EDNET20@outlook.jp (ednet20@outlook.jp)



第1回

SDGsメガネで見つけよう! お家SDGs

このコラムでは、〈SDGs〉の基本的な考え方について整理しながら、身近な地域=地元や家庭でもできるSDGsの取り組みは何か、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。ご意見・ご提案・疑問等々をお願いします!

〈SDGsメガネ〉とは〈SDGsの視点=キーワード〉ということです。皆さんも、このメガネをかけて地球や身の回りの地域・家庭を見回して下さい。きっと〈お家SDGs=日々の生活の中で続けられるSDGs〉が見つけれられると思います。

SDGsメガネ その1



「持続可能であること」 ➡ずっと続けることができる方策か。

2015年に国際連合加盟の193か国が、人類が地球の生態系と共にいつまでも生存し続けられるように、国際社会共通の目標として採択しました。

SDGs (エスディージーズ) は「持続可能な (Sustainable) 開発・発展 (Development) 目標 (Goals)」の略称で、**17のゴール (目標)** と **169のターゲット (具体的達成基準)** からできています。

ここで、「持続可能であること」がSDGsの重要なキーワードだと分かります。

埋蔵量が限られているガソリン等の石油資源を使い続けていけばいつか使い尽くしてしまうことは勿論、その結果として二酸化炭素等の温暖化ガスが増え続け、気候崩壊によって人も生き物も地球の上で生き続けることができなくなってしまう。貧困や人権等の不公正の問題の解決も、国土が海水で浸食されたり、大規模な災害が繰り返されているような状況では、希望をもって取り組むことはできません。

SDGsのどんな目標も解決策も、それを支える地球の生態系が崩壊してしまえば、地球=自然の恵み (生態系サービス) を受けられなくなってしまい、人も生き物も活動できなくなってしまいます。

SDGsの解決策は「ずっと続けることができる方策か」十分に考えて取り組まなくてはなりません。

皆さんも小さなことでいいですが、「これは、毎日・毎週、続けられるかな?」と考えてみてください。

SDGsメガネ その2



「生態系」 ➡人の生活も自然の営みもつながっている。

2020年の暮れには「紅葉の紅い色が見事だった。」という話をよく聞きました。皆さんはいかがでしたか? 土の上に落ちた落ち葉は土壌動物や微生物の働きで腐葉土になり、分解されて土に還っていきます。このように「**自然生態系**」には生産層と分解層の二層構造があり、物質は実線矢印のように循環して平衡状態を保っていて、エネルギーも入量と出量がバランスを保っているのです (右図波線)。

ところが下図のような「**都市生態系**」では、生産者 (植物) が切り離されているので、生態系の外部から酸素・食料・燃料等の物質を供給する必要があり、分解層もコンクリート等で覆われていて分解者が働きにくく物質循環が停滞しやすく、無機的環境や生物体内等に人工物や汚染物質が蓄積しやすくなっています (点線矢印)。そこでは、過剰に放出される熱エネルギーが大気中に蓄積されてヒートアイランド現象を起こし、地球温暖化の進行につながっていくのです。

そんな都会では、コンクリートや舗装道路に積もった落ち葉も、迷惑なゴミとしか思われませんが、この落ち葉を日本の農家がどう使っていたかご存じの方も多いかと思います。日本の多くの農家では、家の南側にケヤキ等の落葉広葉樹を植え、冬の落ち葉を集めて腐葉土・堆肥としていました。(夏に残る枝葉には、厳しい日射を遮る等の環境調整機能も!)

また、この落ち葉を集めて右の写真のようにすると、どんなことが期待できるでしょうか?

生き物には? 人には?

皆さんのお家でもできることがきっとあります。探してみてください。

